

(毎月1日発行、創刊号平成23年4月11日)



# 復興ニュース

149号  
2016年  
9月1日

## 夢ネット大船渡創立10周年記念

三陸鉄道盛駅運営5周年記念 感謝公演



# 劇団「ともえ座」

日本舞踊「満月会」  
フラダンス「フラ・カリア」



◆日時 平成28年10月16日(日)

当日午前10時から会場受付で入場券と座席指定券と交換します

開場12時00分 開演13時00分 終了16時00分

◆場所 リアスホール 大ホール 10年間のご支援に感謝!

大船渡市民文化会館

ご来場を

◆入場料 1,000円(記念品付)

お待ちしております

当日券 同額(記念品無し)

販売所 三鉄盛駅、サン・リア、リアスホール

入場券9月1日から販売開始

主催 夢ネット大船渡  
TEL (0192) 47-3271  
三鉄盛駅 TEL47-3542

# 気仙の NPO 組織力アップへ フォーラムやフェスタ等を行い支援

## 夢ネット大船渡の歩み(前半) 平成 18 年(創立)～震災前までの活動紹介

平成 18 年 12 月 11 日に岩手県知事の認証を受け、同月 14 日に大船渡法務局へ登記し、気仙地域初の NPO 中間支援組織として夢ネット大船渡が発足し、創立10周年となりました。これまでの事業を振り返り、その成果を今後引き継ぎたいと願っています。

### ◆ NPO 中間支援の事業

夢ネット大船渡のホームページを立ち上げ、19 年度開催の「いきいきフェスタ」への相談会(10 団体出席)等を開くなど、市民活動団体支援への事業準備を開始しました。

★19 年度 (1) 第 1 回市民活動フォーラムを 9 月 29 日に住田町種山で開催、①森の案内人による種山散策、②講演「住民主体の地域づくり」(講師:高橋恵子氏)開催しました。(2) 第 2 回市民活動フォーラムは 20 年 2 月 24 日に、大船渡市カメラアホールで開催、現北上市長の高橋敏彦氏を講師に「市民活動とネットワーク」の講演を行い、12 団体 36 名に参加して頂きました。(3) 第 4 回いきいきフェスタを陸前高田市の産業まつりの一部として、11 月 10～11 日に陸前高田市タピック 45 で開催し 13 団体が参加し活動紹介を行いました。



19 年 種山で開催のフォーラム

★20 年度 (1) 市民活動入門講座「みんなで育てよう市民活動(NPO)」をカメラアホールで、全 5 回開催し受講者 20 名(全 5 回出席者 6 名)でした。(2) 9 月 18 日は 12 団体 30 名が参加し、貸切バスで、北上市民活動センターと一関市民活動センターを訪問し、両センターを見学しました。気仙にも市民活動センターの必要性を痛感しました。(3) 第 5 回気仙いきいきフェスタ(11 月 8～9 日)はタピック 45。(4) 第 3 回市民活動フォーラム(21 年 2 月 22 日)は大船渡市カメラアホールで開催しました。



タピック 45 で開催のフェスタ

★21 年度 (1) 大船渡地方振興局の委託を受け「地域づくりネットワーク推進事業」として、気仙の市民活動団体データを夢ネット大船渡のホームページへ掲載し発信する取り組みを行い、大船渡市 40 団体、陸前高田市 11 団体、住田町 10 団体を掲載しました。

(2) 第 6 回気仙いきいきフェスタは住田町(10 月 31 日)産業祭りと同時に開催しました。(3) 第 4 回市民活動フォーラムは 22 年 2 月に陸前高田市ふれあいセンターで、一関市の小野寺浩樹氏を講師に「市民活動の悩みと克服策」のテーマで開催(27 団体 61 名参加)しました。

★22 年度 (1) 沿岸広域振興局の委託を受け「気仙地域市民活動支援事業」として、地域ごとの地域課題を探そうとの目的に、①自治体ごとの意見交換会、②団体訪問調査、③市民相談日(月 2 回)を開催しました。



「気仙地域市民活動支援事業」報告書  
気仙の市民活動団体  
気仙の市民活動調査報告書

この報告書「気仙の市民活動団体」として発行しました。

(2) いわて NPO 基金の助成を受けて、活動分野ごとの講演会①情報化社会の発展(県立大学:小川晃子氏)、②環境保全(環境庁:久保井喬氏)、③保健・医療・福祉(県社協:菅原進氏)、④子育て(厨川小教諭:小野寺佳織氏)、⑤読み聞かせ(うれしのこども図書室:高橋美和子氏)、⑥まちづくり(紫波役場職員:鎌田千市氏)、⑦学術文化・芸術・スポーツ(東北学院大:佐々木俊三氏)と開き、活動団体を支援しました。

(3) 23 年 3 月 17 日には「気仙市民活動ネットワーク会議(結成総会のご案内)」として、文書を送っていましたが、3 月 11 日の大震災により結成出来ずに現在に至っています。

### ◆ けせん地域市民活動情報誌「みらい」の発行

いわて NPO 基金助成等を受け、市民活動団体の交流誌として平成 21 年 5 月 1 日付で創刊号を発行し、平成 24 年 2 月まで(31 号まで)発行しました。「みらい」は現在休刊中。震災後復興ニュースを発行

### ◆ 地域起こしアイデア探しに「ホラふき大会」開催

第 1 回が平成 17 年 1 月(カリアホール)、第 2 回 18 年 1 月(JA 会館)、第 3 回 19 年 1 月(商工会議所)、第 4 回 20 年 1 月(JA 会館)、第 5 回 21 年 1 月(リアホール)に行いました。

先着 48 名様 募集

★日時 平成 21 年 12 月 12 日(土)  
観覧券 → 全席立席 30 分間に限り  
観覧券 → 全席立席 11 時 40 分  
→ 全席立席 → 観覧券 14 時 35 分

★料金 一人 1500 円  
→ 観覧券 + 乗車券

★会場 12 月 6 日(日)まで  
→ 三陸鉄道 盛岡駅

主催: NPO 法人夢ネット大船渡

平成 21 年 12 月開催

### ◆ 三陸鉄道支援事業

三鉄支援として平成 20 年度は歌声列車運行。21 年度は盛川鉄橋へ 30 秒ほど列車を止め、乗者が窓からウミネコへ餌を投げ、観光話題づくり。22 年度は三陸駅前賑わい市の開催を JA おおふなと等と共催で実施しました。震災前の三鉄支援が縁で、現在三鉄盛駅を運営しています。

## 食の観光資源 「ホタテとワカメの炙りしゃぶしゃぶ御膳」

テレビで紹介された陸前高田市の新メニュー「ホタテとワカメの炙りしゃぶしゃぶ御膳」を食べに、つどいの丘商店街「わいわい」へ行って来ました。お膳の珍しさと、ホタテ三昧の料理や手頃の値段に感心しながら美味しく食べて来ました(編集担当:岩城)。

陸前高田ホタテとワカメ料理推進協議会の新メニュー「陸前高田ホタテとワカメ炙りしゃぶしゃぶ御膳」(愛称:ホタワカ御膳)は、陸前高田市が誇る3つの食材「活ホタテ・ワカメ・たかたのゆめ(米)」を使った贅沢なおもてなし膳です。

当日わいわい店の同席者は千葉県市川市役所から陸前高田市へ復興応援に派遣されている方と、その後輩で陸前高田市へ2泊3日でこられた方ら5人でした。聞くとワカメのしゃぶしゃぶは初めて、美味しかったと話してくれました。

店主の太田さんから評判を聞きますと、「目標の数には達していないが、このメニューを目的に来店される方があり、これだけでも有り難い」と手応えを得ているような回答でした。課題はつどいの丘商店街までの地図など分かりづらいことを、何とかしなければと話していました。

なお、ホタワカ御膳提供は、つどいの丘商店街の「わいわい」と「陸丸」、「キャピタル1000」、「山陽ホテル(宿泊客限定)」です。



高田松原 再生事業



## 高田松原再生事業

8月6日岩手県沿岸広域振興局主催「高田松原地区現場見学会」が行われました。

12.5mの高さの第2線提と第1線提の間、約100mの間約8haに松を来年度から植樹するそうです。その第1線提の先約30~60mの幅で海水浴場を再生するとの計画で、すでに砂が投入され一部は震災前のように波が打ち寄せ、直ぐにでも海水浴が出来そうな状態(写真)でした。

また、この高田松原地域は、国・県・陸前高田市

の連携のもとに「津波復興祈念公園」の整備が計画されているだけに、高田松原の再生事業は住民の大きな関心事となっています。

## 三鉄沿線花の博覧会開催！ 主催：三鉄沿線プロジェクト



講師の松本氏

8月27日午後、三陸公民館大ホールで千葉県の小湊鉄道沿線で、花いっぱい事業を行っています松本靖彦氏(南市原里山連合会長)を呼んで、先進地の活動紹介を行って頂きました。

松本さんは、平成16年に教職を退職し、故郷の里山をめぐる、そこはゴミの山となっていた。仲間を誘い少しずつ捨てられた冷蔵庫やタイヤを回収しながら、現在は小湊鉄道沿線の里山再生へ沿線住民と一緒に努力しています。

「自分の故郷をどう守っていくのか」。鉄道の持っている魅力

は限りない、この魅力を引き出すために、列車から見えなくなっていた桜・銀杏・紫陽花等を見えるように、茂っている竹を切り、草を刈ったりした。新たに造り出すのではなく、あるものを生かして美しい風景にすることである。来た方々がワンコインでくつろげ楽しめる場所がほしい等々。この活動継続は住んでいる人たちの情熱ではないでしょうか。

講演会終了後、この事業の一つの目玉でもある甬嶺駅海側の市有地へ「三鉄沿線を花で飾ろう」(幅540cm×高さ93cm)の看板を設置しましたので、「看板のお披露目」も行いました。

三鉄沿線が四季折々に花が眺められ、地域が蘇ることを誓った講演会でした。今後沿線住民の協力により桜や紫陽花の苗木植樹やスイセン球根や菜の花の種を植えるなどを計画しています。心当たりの方はご連絡をお願いします。 連絡先 三陸鉄道盛駅 Tel・fax(0192)47-3542



## 三鉄盛駅からのご案内

TEL0192-47-3542

### ◆盛駅前賑わい市

9月10日(土)、24日(土) 10:00~12:00 **毎回好評開催!**  
旬の地元野菜を販売! JA おおふなと女性部(はこべの会)  
衣類・布配布(無料)、初めての方へ囲碁・簡単マジック等の指導も行います(無料)

### ◆三鉄駅からウォーク 《申し込み必要》 地元の魅力再発見!

9月17日(土) 午前8時30分に三鉄盛駅に集合、  
盛駅発 9:13⇒吉浜駅着 9:47 ~ウォーク~ 吉浜駅発 12:25⇒盛駅着 12:58  
吉浜駅から水上助三郎翁像・真称寺・根白漁港(トイレ休憩)⇒吉浜駅  
参加費:750円(往復乗車代・保険料)、持参:軽食・飲み物 申込み〆切 9月14日

### ◆三鉄駅弁列車 《申し込み必要》

9月22日(木・祝) 11:00に三鉄盛駅集合  
11:25盛駅発一釜石駅ー13:40盛駅着 2時間15分間の楽しい列車旅  
駅弁は好評の『いわて恵みづくし弁当』(碓石給食株)をいただきます!  
参加費2500円(駅弁、乗車券代) 定員48名 **※最少遂行人員20名**  
食べ物・飲み物の持ち込み自由!楽しいガイド付き。最終〆切9月19日(月)

### ◆第78回 無料法律相談《申し込み必要》 お気軽にお電話下さい。

9月25日(日) 10:00~13:20 一人相談40分間  
弁護士と税理士が参ります。どんな相談でもよろしいです。出張相談にも対応します

### ◆横浜市中区社協とボランティア今年も花植えに

横浜市中区社協と同区ボランティア連絡会による「さんりくがんばっぺし心のプロジェクト」は、8月20日午前9時から三鉄盛駅ホームで、同団体35名に地元夢ネット会員6人と三鉄職員4名が加わり、プランター100個に日々草300本を植えました。このプランターの一部は、9月24・25日に行われる国体グランドゴルフ大会の選手や役員を歓迎するため、盛駅周辺の街路へ置く予定です。

参加者から「昨年にメッセージを貼って作ったプランター、今も大切に使って頂き感激しました」(中区社協:佐藤裕子さん)。「被災地を見て新しい建物は出来てはいるが、復興はまだだと感じました」(中区:井上圓三さん72才)



### ◆盛町八幡町で 黒マグロ解体ショー

8月21日午前11時から、八幡町公民館主催で盛駅前の気仙沼信用金庫駐車場を会場に、東京のおさかな本舗「たいこ茶屋」による黒マグロ解体ショーが、近くのみどり町災害公営住宅入居者にも声をかけて、多くの方々が参加しました。

台風が三陸沖通過中でしたが天気も上々の夏の暑さの中、メキシコ産60kgの黒マグロを捌いた方は、東京で49年間修業し(宮城県出身)、マグロの見分け方は「顔がおだやかであること」(餌が豊富で満腹に育ったから脂がのっている)等のトークを入れながら包丁を入れ、マグロ丼となって参加者の胃袋に入ってしまった。みなさんご苦労様でした。

### ◆SL 銀河の旅を楽しむ こんなミニ旅行もいいですね

大船渡市に住むNさん(59才)は、8月21日に三鉄盛駅から乗車し、釜石駅でSL 銀河に乗り換え遠野駅まで、近くの「とおの物語の館」で民話を聞き、遠野駅前から岩手県交通のバスで帰ってくる周遊コースを楽しんで来ました。詳細は、三鉄盛駅発 9:13⇒三鉄釜石駅着 10:06、JR釜石駅発 10:55~SL 銀河~遠野駅着 12:41、とおの物語の館(民話を聞く) 13:00~13:20、駅周辺で昼食、帰りは遠野駅前発 14:32の岩手県交通バス⇒盛駅前着 15:38

(注) SL 運行日の確認や指定席の予約が必要です。

この復興ニュース発行には  
岩手県福祉基金からの助成と  
元気人間製造研究所(大阪府境市)  
酒田砂丘開発株式会社(山形県)  
のご寄付を受けています。

### ~ご意見、ご感想をお寄せください~

あて先: NPO 法人夢ネット大船渡  
\* 〒022-0003  
大船渡市盛町字内の目14-15  
\* Tel/fax 0192-47-3271  
\* メール npoyumenet@bz01.plala.or.jp